



Q 部活動の地域移行と 合同部活動の促進

うちの よしひろ
内野 嘉広 議員



A 生徒にとってよりよい活動の場と なるよう検討していく

※合同部活動・・・学校に部があり、顧問もいるが、その学校だけでは大会に出場する人数に満たない場合に、同様の状況にある他の学校の部と合同チームを組み大会に出場する仕組みのこと。

問 部活動の現状と集団スポーツの部活動の現状について。
答 部活動数は、鶴ヶ島中学校が12、藤中学校が15、富士見中学校が11、西中学校が11、南中学校が8である。
主な集団スポーツの部活動数は、野球部が3校、ソフトボール部が1校、サッカー部が4校、バスケットボール部が男子4校、女子5校、バレーボール部は4校である。
問 部活動指導員の人材確保に向けた連携について。
答 募集は、ホームページや広報紙のみで行っている。今後は、地域支え合い協議会や学校運営協議会を通して、広く具体的に応募をかけていきたい。
問 集団スポーツの部活動は、

一つの学校でチームを構成することが難しくなっている。今後のチームづくりの考えは。
答 現在、※合同部活動では、土日などの休日に合同練習や練習試合を行っているが、平日は、移動時間や安全面から実施は難しい状況にある。
まずは、休日の部活動の地域クラブ活動への移行を進めていくことが必要だと考えている。現在、部活動の地域クラブ活動移行検討委員会を組織し、来年度のモデル事業を検討している。

問 住民登録をしている外国人の人数は。
答 令和5年12月1日現在、1823人である。
問 主な国の住民数は。
答 5年12月1日現在、中国が407人、ベトナムが379人、フィリピンが256人、ネパールが116人、韓国が100人である。

Q 外国人住民に対する 多言語での対応は

すぎた やすゆき
杉田 恭之 議員



A ニーズを踏まえ、更なる多言語 対応を検討していく

問 市の広報紙やホームページなどにおいて、多言語対応はしているか。
答 広報紙の多言語対応はしていないが、ホームページは画面上での操作により132の言語に対応している。
問 一部事務組合の広報紙やホームページなどにおいて、多言語での対応の状況は。

答 ごみ処理を担う埼玉西部環境保全組合では、広報紙の対応はしていないが、同組合が発行する「ごみ・資源収集カレンダー」は英語と中国語に対応している。水道事業、下水道事業、し尿処理事業及び消防・救急事業の一部事務組合では、多言語対応はしていない。
問 市の広報紙やホームページにおいて、今後の多言語対応は。
答 ホームページを中心に対応し、その他の媒体については、今後の技術革新の動向を注視し、外国籍の方々のニーズを見ながら対応を検討していく。



多言語対応しているごみ分別案内